

# 「まつだジャンプ!!」

～継続から飛躍!!～



松田町長 本山 博幸

年頭にあたり、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

2023年の干支「癸卯」は「静かで温かい恵みの雨が降り注ぎ、草木を生き生きと蘇らせる年」といわれます。本年は、これまで約3年間コロナ禍による新たな日常の中で学んできた経験を活かし、「目に見えて大きく成長する年」として挑戦を続けます。

また新型コロナウイルス感染拡大の第8波が危惧されていますが、医療関係者などの皆さまに感謝するとともに、引き続きご協力を賜り、町民の皆さまが安心して暮らせる状況が継続できるよう取り組んでまいります。

さて、本年は「兎年」にあやかり、町を「飛躍(ジャンプ)」させるためにも新たなまちづくりの基本理念である「チルドレンファースト」を念頭に「まちづくり」を「継続」し、子どもたちが「住みたい町・住み続けたい町」へ世代を超えた協働・連携協力により「2世代・3世代が近くに・一緒に住み続けてくれる町づくり」を進めるために「第6次総合計画

後期アクションプログラム」スタートの年として「目に見えるカタチ」にて推進してまいります。

① コロナ禍による物価や燃料費の高騰による生活環境の変化への支援を行います。

② 松田小学校のグラウンド整備が本年2月末に完了します。

③ 松田・寄小学校在ともに創立150周年を迎え、記念式典を行います。

④ 松田中学校(築52年)校舎規模改修工事がスタート(令和6年度完成予定)します。

⑤ 新松田駅周辺整備事業は、地権者や関係各位の皆さまのご協力を賜り着実に進めます。

⑥ 子育て世代や子どもたちが望む公園や広場への再整備を計画的に行います。

⑦ 高齢者等移動支援として75歳以上の方および妊産婦の方へのタクシー初乗り運賃補助の継続。新たにAIオンデマンドバスの実証実験を行います。

⑧ スポーツツーリズムの推進により新たな観光客を誘致し地域経済の活性化を目指します。

⑨「SDGs未来都市」として

「デジタルファースト」を推進し、町民サービスの向上を図ります。

⑩「ゼロカーボンシティ」として再生可能エネルギーの利用促進を図ります。

これらの事業を進めるには、町民・議会・行政が一丸となり、強い信念をもって取り組む必要があります。コロナ禍においても

「米百俵の精神」(厳しい窮乏の中、救援のために届けられた米百俵を住民に分けてしまったのは数日でなくなってしまうが将来の千俵、万俵として活かすため、未来への投資として「ひとづくり」に使った。)をもって未来を見据えた「選択と集中」によるまちづくりを行ってまいります。ご理解ご協力を切にお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症への警戒が続きますが、町民の皆さまにおかれましては、健康やかに過ごしいただき、元旦に願った夢や想いを「カタチ」として成就されることを心からご祈念申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

